

2018 年度

1. キリスト教文化研究所主催

1) 公開シンポジウム

日 時：2018 年 11 月 24 日（土）午前 10 時 30 分～午後 12 時 30 分

テーマ：「東北における女子ミッション教育の社会史」

講 演：「ミッション系女学校の教養文化」

稲垣 恭子氏（京都大学大学院教授）

研究報告：「女子ミッション教育の戦後史—宮城学院の事例から—」

片瀬 一男氏

（東北学院大学教授／女子ミッション教育史研究会代表）

コメンテーター：宮城学院同窓生

主 催：本学 共 催：女子ミッション教育史研究会、本研究所

後 援：宮城学院同窓会

2) 公開シンポジウム

日 時：2019 年 1 月 11 日（金）午後 3 時～午後 6 時

テーマ：「声を聴く 声をしるす—21 世紀教養教育考—」

報告テーマとパネリスト：

【「古文書」に聴く】

菊池 勇夫氏（本学名誉教授、日本近世史）

【「ことばの教師」に聴く】

今中 舞衣子氏（大阪産業大学准教授、言語教育学）

【「子ども」に聴く】

安部 芳絵氏（工学院大学准教授、子ども支援学）

主 催：本学教育推進研究課題「ことばを聴く ことばを育む—複言語・
複文化主義と教養教育—」

共 催：本研究所

3) 公開研究会

日 時：2018 年 7 月 26 日（木）午後 4 時 40 分～午後 6 時 10 分

テーマ：「社会主義政権下におけるポーランド・ポスター—比喩的表現の効果と変遷—」

講 師：折笠 芽衣氏（本研究所客員研究員）

2. 共同研究「多民族社会における宗教と文化」主催

1) 公開シンポジウム

日 時：2019年1月26日（土）午後1時30分～午後4時30分

テーマ：「観光人類学の新展開—『ホスト・アンド・ゲスト』の磁場を越えて—」

プログラム：

報告1 「『観光の人類学』で問うべきこと—『文化／社会』の議論の次に—」
土井 清美氏（中央学院大学非常勤講師）

報告2 「観光における人類学的実践—「文化のコンサルタント」になれるのか—」
田中 孝枝氏（多摩大学専任講師）

コメンテーター：山下 晋司氏（帝京平成大学教授／東京大学名誉教授）

橋本 和也氏（京都文教大学名誉教授）

2) 公開研究会

日 時：2018年6月16日（土）午後1時～午後5時

テーマ：「インドにおける女性と家族」

報告1：「貧困を生きぬく—ワラーナシー近郊の下層民女性の声から—」

菅野 美佐子氏（人間文化研究機構人間文化研究推進センター研究員）

報告2：「ブラタ儀礼にみる社会変化と女性—ボージプリー文化圏の事例から—」

八木 祐子氏（本学教授）

報告3：「西インドの高齢女性にみる親密圏とネットワーク

—新たなエイジングの模索—」

松尾 瑞穂氏（国立民族学博物館准教授）

コメンテーター：押川 文子氏（京都大学名誉教授）

3. 共同研究「南島における民族と宗教」主催

1) 公開シンポジウム

日 時：2018年6月21日（木）午後4時20分～午後5時50分

テーマ：「沖縄県中南部への移住者による墓の新築と故郷の墓」

報告者：早坂 優子氏（多賀城市教育委員会事務局文化財課 文化財調査員）